

はじめに

本書「庄内地域禁煙サポートプログラム ～子育て期～（妊娠時から乳幼児期）」は、妊婦及び母親、そのパートナー並びに同居家族の禁煙を継続的に支援するため、平成28年3月に制定され、庄内保健所管内の市町及び産婦人科医療機関等の協力を得て、禁煙支援体制を構築してまいりました。

これにより、子育て世代の父母の喫煙率が低下する等、一定の成果がありました。また、女性の喫煙率は子の卒乳以後、上昇傾向にあります。また、父の喫煙率は4割近い水準で推移している等、子の受動喫煙が懸念される状況にあります。加えて、新型タバコ使用者への適切な指導や、面会機会の少ないパートナー及び同居家族へのアプローチ等に課題が生じております。こうした現状及び課題を踏まえ、禁煙支援体制の更なる強化に向け、この度、本プログラムの改訂を実施しました。

今後は、本プログラムの活用により、子の受動喫煙防止、禁煙の推進及び再喫煙防止強化に向け、取組を進めてまいります。

最後に、本プログラム第2版の作成に御協力いただきました関係者の皆様に感謝申し上げますとともに、更なる禁煙支援の推進を目指し、今後も皆様の御理解と御協力を賜りますようお願いいたします。

令和3年3月

<対象期>妊娠時から乳幼児期

健康やまがた安心プランにおける目標

- ◆ 喫煙率の減少（特に20～30歳代の喫煙率の減少）
- ◆ 受動喫煙の機会の減少

<喫煙率の減少（特に20～30歳代の喫煙率の減少）>

評価指標		プラン 策定時値	実績値 (H28)	目標値 (R4)
① 成人の喫煙率		20.5% (H22)	20.2%	12%
② 20～30歳代の喫煙率	20歳代 男性	40.5% (H22)	42.0%	全国値以下
	20歳代 女性	16.8% (H22)	10.5%	全国値以下
	30歳代 男性	46.8% (H22)	51.9%	全国値以下
	30歳代 女性	19.6% (H22)	13.4%	全国値以下
③ 妊娠中の女性の喫煙率		2.9% (H23年度)	2.1%	0%

出典：県民健康・栄養調査（①②）及び母子保健事業のまとめ（③）

・①、③の目標値は、健康日本21（第2次）に同じ。

・②の目標値は、全国に比べ特に喫煙率の高い年代で全国を下回ることを目指すとしたものです。